

(学年) 第3学年、(教科・科目) 道徳科

協働学習

(主題) 法やきまりの遵守

(内容項目) 遵法精神、公德心

(教材名) 仏の銀蔵

(本時のねらい)

証文がなくても借金を返済するようになった村人の良心に触れ、良心に従って生きる村人の生き方に気づいて変化する銀蔵の姿を通して、法やきまりの意義を理解し、公德心を持って生きようとする態度を養う。

(ICT活用方法)

学習課題に対する自分の考えを授業支援クラウドアプリに示させ、電子黒板を用いて学級全体に提示することで円滑に発表・話し合いができるようにする。

(本時の展開)

	学習活動	主な発問と予想される生徒の意識	ICT活用法
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの生活を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでにきまりを破ってしまったことはあるだろうか。</li> <li>人が見ていないと思って破ったことがある。</li> <li>ちょっとくらいいいやと思って破ったことがある。</li> </ul>	
展開 37分	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀蔵や村人の行動にはどのような問題があるのか考える。</li> <li>証文がないのに村人がお金を返し始めた理由を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○銀蔵や村人の行動には、どのような問題があっただろうか。</li> <li>・銀蔵; 賽銭を返してもらおうとするところ。</li> <li>・村人たち; 銀蔵に証文がないので、借金を返さないところ。</li> <li>○証文がないのに、なぜ人々はお金を返し始めたのだろうか。</li> <li>・証文がなくても借りたものは返さなくてはいけないと思ったから。</li> <li>・ごまかしてまで、人の道に外れるようなことはしたくないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に、授業支援クラウドアプリに配信した表に書き込ませる(表は班で1枚)。</li> <li>・村人は、証文がないので、借金をごまかそうとしているところを確認する。</li> <li>・班で話し合わせる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お天道様」とは何か考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「お天道様」とは何だろう。</li> <li>・良心のこと。</li> <li>・神様のこと。</li> <li>・もう一人の自分のこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に授業支援クラウドアプリに書き込ませる。</li> <li>・村人は、自分たちの良心に照らしてお金を返したことを確認し、「公德心」について話す。</li> </ul>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、これからの自分の生き方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を終えて、これから大切にしたいことを書いてみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に、吉野作造の言葉を紹介する。</li> </ul>

(授業の様子)



電子黒板で意見を提示している様子      自分の意見を学習端末に入力している様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末を用いて意見を書き込む活動は、通常よりも意見を出しやすい雰囲気があり、多くの意見が出た。また、各グループで挙げた意見を電子黒板で提示することで、多面的・多角的な見方を教師が取り上げて、問い返しをスムーズに行うことができた。

一方で、多くの意見を回収することができるため、その中から考えが深まるような意見を探し出すのに少し時間がかかった。班の中でさらに意見を絞って一人一台端末に書き込ませるようにするのもよいと感じた。